

## 第 165 回 杉並区の庭野日敬像と長沼妙伎像

筆者：林 久治（記載：2021年9月11日）

### （1）前書き

私（筆者の林）は [Random Walks（乱歩）](#) という題名で [偏屈老人（林久治）の気促な紀行文](#) のサイトを始めている。私の紀行文では、通常の紀行文にはない、斜め目線からのご紹介を書くことに拘りたいと思います。通常の紀行文に関しては、既に優れたサイトが沢山ありますので、それらをも引用しつつ、ユニークなご紹介を記載することに心掛ける所存です。

一方、私は日本の銅像探偵団 ([1\)のサイト/](#)) の銅像探索に参加している。私は珍しい銅像を探して、探偵団の団長さんに「ギャフン！」と仰っていただけることを目標としている。ここで「珍しい」とは、「①見つけ難い場所に隠れている有名人の銅像。②市井で頑張って人生を過ごしたが、有名人ではない人物の銅像」と言う意味である。私は自宅が東京にあり、孫達が大阪にいますので、主として東京近郊と近畿地方で銅像探索を行っている。最近、私はネット記事を丹念に調査し、そのような「スクープ銅像」の候補を多数見つけている。

武漢肺炎による自粛生活で家に籠っていると、運動不足で体重が増加するし、精神的にも圧迫を感じる。私の銅像探索は不要不急の活動ではなく、私の生存に必要不可欠である。私は武漢肺炎の2回目のワクチンを6月19日に接種したが、それまでは自宅の近場で銅像探索を行っている。私は6月28日に最近建立されたばかりの志村像を探索し、その探索記を[161回の記事/f](#)に記載した。

7月に入り、私と家内は2回目の接種後から2週間が経過したので、免疫が完成したはずである。それまでは、感染を恐れた生活を送っていたが、これで無罪放免となった。一方、ガースー首相は五輪開催に固執し、7月23日には開会式を強行してしまった。そのせいで、感染者数は日本全国で激増している。小池知事は相変わらず「不要不急の外出、特に都道府県を跨いでの外出を自粛するように」と発言するのみで、何ら効果的な対策を取らない。

東京五輪一パラの開催期間には、東京都の感染者数は4-5千人となったが、閉会すると二千人以下に収まっている。やはり、五輪の影響が絶大だったのは明白である。銅像探索に関しては、私は近場で混雑していない所を選んでいく。8月2日には大阪府中央区で、3日には京都市の壬生寺で探索を行った。京都の探索記を[162回の記事/f](#)に、大阪市の探索記を[163回の記事/f](#)に記載した。

8月下旬は東京では残暑が未だ厳しく、武漢肺炎の感染者数も多かったため、私は自宅で自粛していた。9月1日には急に涼しくなり感染者も少し減ったため、早川徳次像と藤澤義雄像を探索して、その探索記を[前回の記事/f](#)に記載した。東京は、それ以後も涼しかったが、雨模様の天候が続いた。

8日には少し晴れ間があったので、私は杉並区の庭野日敬像、長沼妙伎像、および今井政吉像を探索した。前者の2像は[1\)のサイト/](#)には未収録である。今井像は[1\)のサイト/](#)に収録されているが、銅像の基本情報が記載されていない。そこで、これらの銅像を探索し、本稿に庭野像と長沼像の探索記を記載した（ただし、今井像は次回の記事に記載予定）。なお、本稿では資料からの引用を緑文字で、私の注釈や意見は青文字で記載する。

(2) 立正校成会の庭野日敬像と長沼妙佼像

[2\) のサイト/1](#)によれば、庭野日敬さんと長沼妙佼さんの立派な立像が「立正校成会・大聖堂」近くの「立正校成会・発祥の地修養道場」（東京都杉並区和田 1-15-1）に設置されているそうである。それらの周辺地図を図1に示す。私は、大江戸線中野坂上駅で営団丸の内線に乗り換えて中野富士見町駅（図1の①）まで行った。そこから、目指す「発祥の地修養道場」（図1の②）までは、歩いて5分位であった。



図1. 「立正校成会・大聖堂」と「立正校成会・発祥の地修養道場」の周辺地図  
本図は、[3\) のサイト/](#)より借用。①中野富士見町駅、②立正校成会・発祥の地修養道場、③立正校成会大聖堂、④佼成学園高校。

「発祥の地修養道場」に到着すると、残念ながらその門は全て閉まっていた。正門の写真を次ページの図2上に示す。正門から内部を覗くと、正面には庭園があり、その奥に2基の実に立派な立像があった。幸いなことに、それらの銅像は正門方向を向いていたので、それらを望遠で撮影した。その写真を図2下に示す。

(本文は、4ページに続く。)





図2. 上：「立正佼成会・発祥の地修養道場」の正門、下：発祥の地修養道場の庭園に設置された2基の立像（右：庭野日敬像、左：長沼妙佼像）

立正佼成会、庭野日敬さん、及び長沼妙佼さんの略歴の紹介は、次の文献が詳しいので本稿ではそれらの紹介は省略する。

ウィキペディア（立正佼成会）：本会の略歴

ウィキペディア（庭野日敬）：庭野日敬さんと長沼妙佼さんの略歴

4) のサイト/C：主な新宗教の系譜（図3を参照）

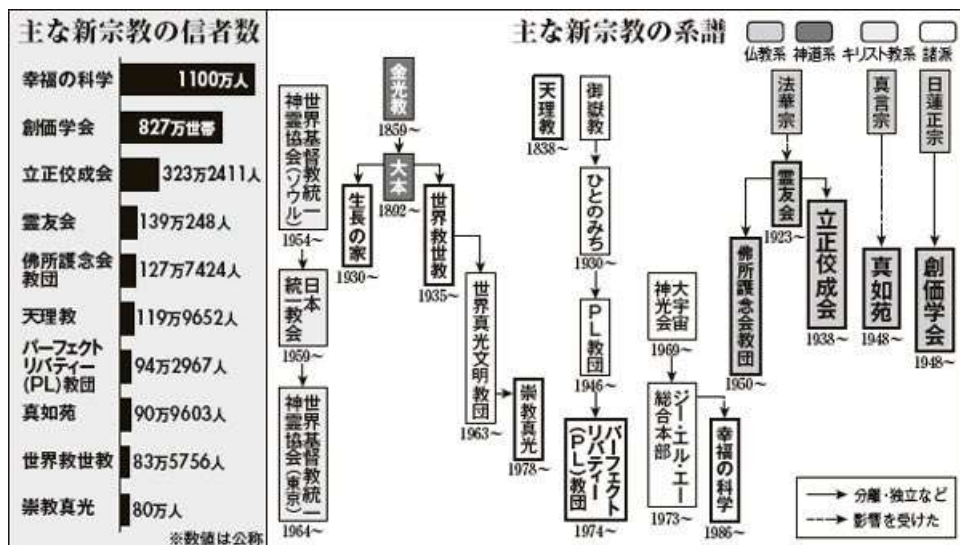


図3. 主な新宗教の系譜 本図は4) のサイト/Cより借用。

5) のサイト/: 庭野日敬開祖の歩み

6) のサイト/: 脇祖 長沼妙佼

7) のサイト/: 庭野日鏡会長の歩み（2代会長、現会長）

8) のサイト/: 次代会長 庭野光祥

9) のサイト/1：立正佼成会を破す（1）

以上の資料などにより、本像の概要は次の通りである。

庭野日敬と長沼妙佼（杉並区）

設置場所：東京都杉並区和田 1-15-1 立正佼成会発祥の地修養道場庭園

設置時期：1988年（教団創立50周年を記念して建立）、制作者：不明

設置経緯：霊友会の有力な信者であった庭野鹿蔵（新井支部・副支部長）と、庭野の勧誘で共に霊友会を信仰していた長沼政は、彼らが所属していた新井支部長で法華経行者であった新井助信の勧めもあり、1938年3月5日に「大日本立正交成会」（現在の名前に改称されたのは1960年6月1日）を創立した。会の創立に当り、庭野鹿蔵は「日敬」、長沼政は「妙佼」と改名して戸籍登録した。庭野開祖会長は、霊友会を離脱した理由について、霊友会会長・小谷喜美の「法華経の講義なんか時代遅れだ、そんなことをするのは悪魔だ」という発言を聞き、法華経への理解をおろそかにして、真の供養を行えるとは到底思えないと感じたからだとしている。庭野日敬開祖（当時・会長）と長沼妙佼脇祖（当時・副会長）の姓名判断・霊能指導によって、「貧病争」の苦しみから救い、仏道精進に導くというスタンスで布教活動を行っていた。当時、第二次世界大戦の影響で多くの人々が苦しい生活を強いられていた。

庭野日敬開祖の略歴：庭野開祖（1906年11月15日 - 1999年10月4日、改名前は庭野鹿蔵）は新潟県中魚沼郡十日町大字菅沼（現・新潟県十日町市菅沼）の農家に、庭野重吉の次男として生まれた。小学校を卒業後、16歳で上京。米穀店や薪炭店に勤め、漬物店や牛乳店を営む傍ら、自分の子供の病気をきっかけに信仰に目覚めた。易学や修験道など様々な信



仰遍歴を重ねた末、法華経信仰の道に入る。1935年に法華系新宗教教団の霊友会に入会し、当時教団幹部であった新井助信より法華経の講義を受け師事する。1938年3月5日、かねてより師事する新井の強力な勧めもあり、庭野は長沼政とともに霊友会を脱退し、国柱会出身の村山日裏ら他約30人の信者で法華経をよりどころとする大日本立正交成会を創立（初代会長…村山日裏・初代副会長…石原叔太郎）した。この会創立と共に庭野は日敬に改名し戸籍登録。創立当初の同会本部は庭野が当時経営していた東京・中野の牛乳販売店の2階に置かれた。会の草創期は早朝に牛乳配達を終えた後、自転車の荷台に長沼を乗せて深夜まで、2人3脚で寝る間も惜しんで布教に駆け回った。1943年（昭和18年）村山日裏会長、石原叔太郎副会長がそれぞれ退任。後継として実質の運営・指導者である庭野と長沼がそれぞれ「開祖会長」「副会長」に就任、名実ともに庭野会長・長沼副会長体制がスタートする。同会は、1948年（昭和23年）に立正交成会、1960年（昭和35年）に立正校成会と改称。

長沼妙佼脇祖の略歴：長沼脇祖（1889年12月25日 - 1957年9月10日、改名前は長沼政）は埼玉県北埼玉郡志多見村（現・加須市）出身。16歳の時に姉の養女となり、天理教に入信。25歳で結婚後、夫の身持ちの悪さから11年後に離婚。その後、41歳で再婚。夏は氷屋、冬は焼き芋屋の「埼玉屋」という店のおかみさんをしていた。40代後半、心臓弁膜症、喘息、胃下垂、子宮内膜炎が悪化し、寝込むことが多くなった。これを聞いた庭野日敬は、霊友会に入ることを勧め、これに納得し、入会した。1938年、霊友会会長小谷喜美との対立から霊友会を脱会し、庭野や村山日裏らと大日本立正交成会（後の立正校成会）を設立。1943年に副会長に就任。霊力は庭野より強いと言われた。2000年、立正校成会の発展に大きく貢献し、多くの人々の幸せのために身を尽くした慈母の生涯を讃え、庭野日鏡会長から「脇祖妙佼慈道菩薩」の法号がおくられました。

### （3） 佼成学園の庭野日敬像



図4. 佼成学園中学校高等学校の正門

2) のサイト/1によれば、庭野日敬さんの胸像が佼成学園にも設置されている。本像は1) のサイト/には未収録であるので、発祥の地修養道場の2立像を探索後、佼成学園（図1の④地点）にも行って来た。本学園の正門の写真を図4に示す。正門から校庭を覗くと、図4の向かって右側に1基の胸像が設置されていた。私は正門におられた守衛さんの許可を得て、本像を撮影した。その写真を図5に示す。



図5. 佼成学園の庭野日敬先生の胸像



本像の台座正面には、図5下右に示すような「創立者 庭野日敬先生」との題字があった。また、台座側面には、図6に示すような銘板が貼付されていた。また、台座背面には、次ページの図7左のような銘文が彫られていた。本像背面には、図7右のような胸像制作者のサインが彫られていた。それらにより、「本像は、佼成学園後援会により2000年10月に建立され」、「本像の制作者は「喜多敏勝」であることが判明した。

なお、[10\) のサイト/](#)より、喜多敏勝氏の略歴は次の通りである。

昭和29年9月、勅許御鑄物師 藤原朝臣喜多家三十代目 万右衛門の三男として高岡市金屋本町にて生まれる。幼少の頃より絵画、彫刻に興味あり家業美術 工芸品製造に手伝いの為明治の巨匠 高村光雲先生より薫陶をうけられた昭和の巨匠 米治一先生に師事。富山県展連続入選・高岡市展・高岡伝統物産創作振興展並びに加工技術展に最優秀賞や優秀賞の連続受賞。

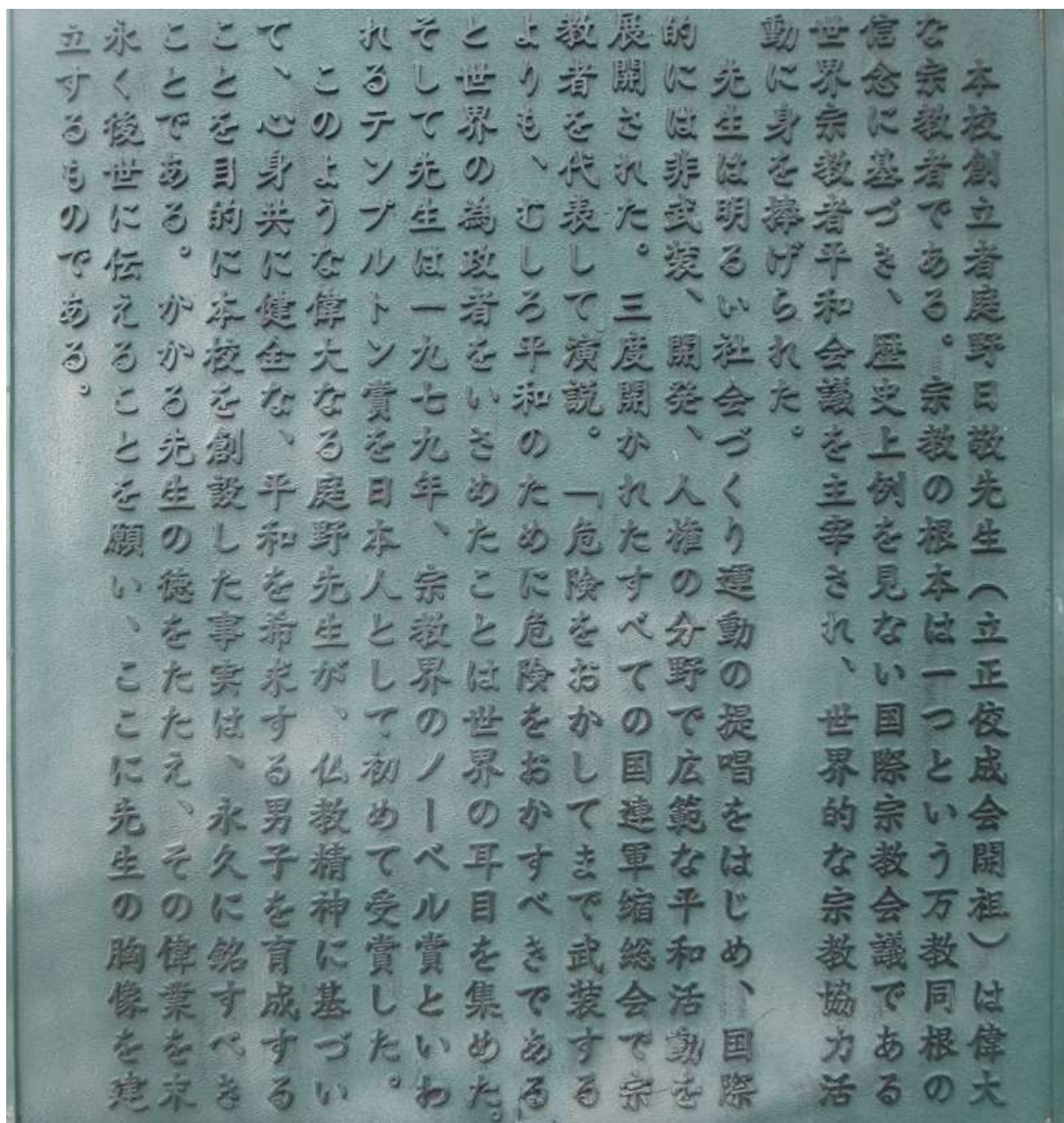


図6. 本像の台座側面に貼付されていた銘板



図7. 左：台座背面の彫文、右：本像背面の胸像制作者サイン。

以上の資料などにより、本像の概要は次の通りである。

庭野日敬（杉並区）

設置場所：東京都杉並区和田 2-6-29 校成学園中学校・高等学校正門内校庭

建立時期：2000年 10月、設置者：校成学園後援会

制作者：喜多敏勝（1954-）は許御鋳物師・藤原朝臣喜多家三十代目・万右衛門の三男として高岡市金屋本町にて生まれる。

庭野日敬先生の略歴：庭野先生（1906年11月15日 - 1999年10月4日）は新潟県中魚沼郡十日町大字菅沼（現・新潟県十日町市菅沼）に生まれ、霊友会の有力な信者となり、1938年3月5日に「大日本立正交成会」（現在の名前に改称されたのは1960年6月1日）を創立した。1956年に立正校成会の社会貢献事業の一環として中学高等学校を開設。

設置経緯：台座の銘文の通り（図6参照）

本校創立者庭野日敬先生（立正校成会開祖）は偉大な宗教家である。宗教の根本は一つという万教同祖の信念に基づき、歴史上例を見ない国際宗教会議である世界宗教者平和会議を主宰され、世界的な宗教協力活動に見を捧げられた。

先生は明るい社会づくり運動の提唱をはじめ、国際的には非武装、開発、人権の分野で広範な平和活動を展開された。三度開かれたすべての国連軍縮会議で宗教者を代表して演説。「危険をおかしてまで武装するよりも、むしろ平和のために危険をおかすべきである」と世界の為政者をいさめたことは世界の耳目を集めた。そして先生は1979年、宗教界のノーベル賞といわれるテンプルトン賞を日本人として初めて受賞した。



このような偉大なる庭野先生が、仏教精神に基づいて、心身共に健全な、平和を希求する男子を育成する目的に学校を創設した事実は、永久に銘すべきことである。かかる先生の徳をたたえ、その偉業を末永く後世に伝えることを願い、ここに先生の胸像を建立するものである。

#### (4) 立正校成会大聖堂

校成学園の前には、立正校成会のシンボルである大聖堂が聳え立っている。その写真を次ページの図8に示す。[11\) のサイト/u](#)によれば、本堂の概要は次の通りである。

法華経の広宣流布をめざす根本道場として、全国の会員が一丸となって1964年に建設されたのが大聖堂です。堂内には本会の本尊「久遠実成大恩教主釈迦牟尼世尊（くおんじつじょうだいおんきょうしゅしゃかむにせそん）」が安置されています。法華経が「円教（えんぎょう）…欠けることのない完全な教え」と言われることから円柱型に建設されました。2003年より免震等の改修工事が行われ、2006年5月にリニューアルしました。



図8. 立正校成会大聖堂

#### 参考資料

- 1) のサイト：<https://douzou.guidebook.jp/>
- 2) のサイト：<http://takay36.blog.jp/archives/3845777.html>
- 3) のサイト：<http://www.jhp.or.jp/2017/10/ichi-jo/>
- 4) のサイト：  
<https://twitter.com/search?q=%23%E5%BA%AD%E9%87%8E%E6%97%A5%E6%95%AC>

- 5) のサイト : <https://www.kosei-kai.or.jp/about/leader/kaiso/>
- 6) のサイト : <https://www.kosei-kai.or.jp/about/leader/wakiso/>
- 7) のサイト : <https://www.kosei-kai.or.jp/about/leader/kaicho/>
- 8) のサイト : <https://www.kosei-kai.or.jp/about/leader/jidai-kaicho/>
- 9) のサイト : <http://www.honsyuji.jp/sectsfault/1>
- 10) のサイト : <https://www.butuzou-world-shop.com/540-050/>
- 11) のサイト : <https://www.kosei-kai.or.jp/honbu/facility/daiseidou>